授業科目名・形態	公衆衛生看護活動論Ⅲ(健康課題別) 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	川村　泰子・熊澤　由美子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期
科目ナンバリング	N6-3021pht				

【授業の主題】

人々の健康・生活を護るために地域で展開される対象別、課題別の活動の考え方や方法について学ぶ。また、人々の健康及び生活の現状と、関連する各種関係法規、施策、社会資源等を、対象別に体系的に学ぶ。

【到達目標】

1．障害や難病による生きづらさと共に生きる人々が経験しがちな困難について説明できる。
2．地域共生社会の理念と実現のために必要な地域のシステムについて考え、説明できる。
3．疾患や障害の特性を踏まえ、個人を尊重した支援の在り方について理解し考えることができる。
4．障害者総合支援法をはじめとした支援制度と社会資源について理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　地域共生社会の実現とそのための理念/主要な制度の変遷とこれまでの動向
第 2 回　リスクを抱える人々への保健活動（1）精神保健活動の実際
第 3 回　リスクを抱える人々への保健活動（2）対象の理解
第 4 回　リスクを抱える人々への保健活動（3）障害者総合支援法と地域の支援体制の構築
第 5 回　リスクを抱える人々への保健活動（4）社会病理を背景とする精神保健の課題と対策
第 6 回　リスクを抱える人々への保健活動（5）障害者（児）を対象とした保健活動
第 7 回　リスクを抱える人々への保健活動（6）難病対策の歴史的変遷と保健師活動
第 8 回　リスクを抱える人々への保健活動（7）難病対策　地域における難病患者への支援
第 9 回　健康危機管理状況にある人々への支援（1）健康危機管理の定義
第 10 回　健康危機管理状況にある人々への支援（2）災害に関する法律と社会制度
第 11 回　健康危機管理状況にある人々への支援（3）災害時の保健活動（演習）
第 12 回　健康危機管理状況にある人々への支援（4）感染症の動向
第 13 回　健康危機管理状況にある人々への支援（5）感染症：結核の制度・疾病管理
第 14 回　健康危機管理状況にある人々への支援（6）感染症集団発生時の保健活動（演習）
第 15 回　地域歯科保健活動　　生涯を通じた歯科保健活動の実際

【授業実施方法】

講 義，演 習

【事前・事後学習】

事前学習として講義前は教科書を読んで臨み（毎回２時間以上），講義後は学修内容を復習（毎回２時間以上）してください。

【主な関連する科目】

精神保健福祉・難病保健福祉・社会保障・感染症看護に関連する科目および公衆衛生看護学のすべての科目・実習

【教科書等】

最新保健学講座 3　公衆衛生看護活動展開論　メヂカルフレンド社
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2023/2024 年」2023 年

【参考文献】

小川一枝・小倉郎子：難病の保健師研修テキスト，東京都医学総合研究所,2017
厚生労働省：感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引き（改訂第６版），2022

【成績評価方法】

受講態度等（5%），提出課題（10%），定期試験の成績（85%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

講義においては実務経験で体験した事例等の紹介し、集団を対象とした活動について興味関心を促す

【学生へのメッセージ】

既習科目および実習と関連付けて主体的に授業に臨みましょう。
社会の動きは人々の健康と大きなかかわりを持っています。ニュース等は毎日視聴し社会で起きている出来事に関心を持つことが不可欠です。